

# ぎのわん地域づくり塾 ニュースレター

主催：宜野湾市 / 宜野湾市社会福祉協議会 運営：特定非営利活動法人 まちなか研究所わくわく

Vol. 2

H28. 8. 1

～ぎのわん地域づくり塾の様子をお伝えします～

発行：宜野湾市市民協働推進

## 実践から学ぶ～困りことが地域づくりに～



第2回講座は、長田区をモデルケースに実践の現場での課題を学ぶことが目的。富濱会長から、長田区の概要や地域の実態、自治会の活動内容や組織、そして、区民から寄せられる相談の種別や内容、また、協働を意識した様々な取り組み事例の紹介がありました。富濱会長が、悩み探りながら取り組みを前に進めている誠実な姿勢に、敬意と激励の拍手で講話は締め括られました。

～以下講話より～

○長田区は、子育て世代が多く、教育施設（沖国大、琉大、長田小、中商高校）が隣接し地域資源に恵まれている。

○自治会加入率は23%。長田区全体の課題をカバーできているか不安。

○自治会の体制及び協力団体、主な通年行事、協力ボランティア活動、連絡協議会等を紹介。

○自治会には様々な相談が寄せられる。その「困りごと」の一つひとつに向き合うことが、地域づくりにつながる。課題に向き合っていく過程で、誰かが



第2回 <7月25日(月)19:00-21:00>

地域づくり実践の現場から学ぶ  
～宜野湾市長田区の地域課題と実践～

長田区自治会長 富濱宗俊 氏

支え合っていることを知ったり、人と人がつながったりするきっかけになる。相談を一人で抱えると苦しいし、自治会だけでは解決が難しい課題や相談を、ワンストップさせずに関係機関へつなぐことも、自治会の果たす大切な役割でもあると思う。

こうした活動を通して、今後もさらに開かれた地域運営を行っていきたい。地域の課題は必ず地域の資源に繋がっていると思う。

○2年前に長田区で櫻井先生の講話を聴き、みんなワクワクした。長田区は、資源がたくさんあるのに「もったいない」ことに気づき、それ以来、子ども



をキーワードにした行事を行ったり、協働を意識して、様々な世代の新しい人との関わりをもつきっかけ作りに取り組んできた。

○これまで以上に公民館を、より身近に感じていただき、住民活動・公民館活動の拠点として活用しやすい雰囲気づくりに努力してきた。

そして、今後は、話し合いの場を多くもつように工夫していきたい。

○「住民自身が考え→実践し→検討する」という文化を根付かせたい。

○（質問に答え）大きな企業とどうつながりどんなことができるかはこの塾でアドバイスを頂きたい。

裏面へ→

## テーマ毎にチームづくりへ



講話前に、質問に対する4択の答えが示されたコーナーにそれぞれ集まり、同じ答えを選んだ塾生同士で自己紹介をしました。

講話のあとは、長田区に寄せられる困りごとを大きく、「環境」「貧困」「高齢者」「道路・交通」という4つのテーマに分類し、塾生それぞれが気になるテーマのもとに集まり、そのテーマの企画案作成に取り組みたい理由について互いの考えを共有しました。



## 塾生の声 ~レポートより~

### ~気づき・学び~

- 地域同士で支え合っている現実があるということがすばらしいと思う。
- 常に課題に向き合う姿勢が「人」「資源」がつながるきっかけになるんだと気づき勇気づけられた。
- 個人の抱えている悩みを言いやすい雰囲気づくりが会長の素晴らしい点だと思った。
- 地域に住んでいるキーマンが必要である事を学んだ。
- 開かれた公民館づくりに向けてとても熱心に活動していることが印象的でした。

### ~自分に生かしたいこと~

- 小さな声を拾えているか？
- ゆんたく広場をつくりたい。
- 傾聴の大切さ。
- 自分の地域の活動をもっと知りたい。
- アイスブレイクが新鮮で良かった。
- 区の住民だけでなく周りもまき込む。

など

次回の講座は…地域で「話し合う」ためのスキル～ファシリテーション～

まちなか研究所わくわく 宮道喜一氏

8月8日(月)19:00～ @ふくふく2階講堂